

第2回全体会合・第3回講演会報告

日時：平成25年7月26日(金)

場所：高崎市産業創造館

■全体会合 14:00～15:00

- 1 支部長挨拶 (加藤支部長)
- 2 議長選出
- 3 議事 (1) 平成24年度事業について (大山副支部長)
(2) 平成24年度収支について (大山副支部長)
(3) 平成25年度事業計画について (大山副支部長)
(4) 平成25年年度予算について (大山副支部長)
(5) 平成25年度群馬県支部組織運営体制について (加藤支部長)
- 4 閉会の辞 (眞下副支部長)



■講演会 15:30～17:00

(講演会のみの方は15:00より受付)

テーマ：「地震と防災」

演題：「平安時代弘仁9年(818年)年地震による地形変化と災害—赤城山南麓を中心に」

講師：早田 勉 先生(株)火山灰考古学研究所所長・前橋工科大学非常勤講師

内容：3世紀後半に浅間山の降灰による田畑の埋没、5世紀に榛名有馬に降灰による田畑の埋没があり、6世紀初頭に榛名渋川に降灰、火砕流、火山泥流による集落・田畑の埋没があり、6世紀中葉に榛名伊香保に降灰、火砕流、火山泥流による集落・田畑の埋没があった。弘仁9年(818年)7月関東地方に大規模な地震が発生した。山崩れが発生し、谷が埋まった。洪水も発生し、上野などの境では多くの人命が失われた。

1108年に浅間の降灰に伴う田畑の埋没があり、1128年に浅間粕川の降灰に伴う田畑の埋没があり、1783年に浅間の降灰、天明泥流による家屋流出、田畑埋没があった。赤城火山南麓の地震地形と関連遺跡の分布が示された。近年では1947年のカスリン台風による崩壊箇所と土石流下域が示された。

